

★米政権にキューバへの経済封鎖の即時解除をもとめます

駐日キューバ大使館  
キューバ諸国民友好協会

2019年11月8日  
日本AALA連帯員会

国連総会は11月7日、米国にたいしてキューバへの経済封鎖解除を求める決議案を、圧倒的多数の賛成で採択しました。

キューバ政府の外交が、決議案の中身を骨抜きにしようとする米政権の策動を打ち破って、決議案への圧倒的な多数の支持を獲得したことを称賛します。

1962年から発動されているキューバ経済封鎖は国連憲章と国際法に違反した最悪の干渉・介入行為として国際社会の批判を浴び、1992年以降27年間連続して国連総会で解除要求決議が採択されてきました。私たちは米政権によるキューバ敵視政策を強く非難し、犯罪的で不正、非人間的な経済封鎖を即時解除するよう要求するものです。

日本AALAは、非核・非同盟・中立の日本をめざし、日米同盟を口実にした米国からのさまざまな圧力と理不尽な要求に反対し、米国追従の安倍政権と対峙してたたかっています。それだけに狂暴な米国の圧力に屈せず、革命の原則を守ってたたかっているキューバの人々にはげまされてきました。

私たちは、国の主権と独立を守るキューバ国民のたたかいに揺るぎない支持を表明し、日本とキューバ人民の友好、日本AALAとキューバ諸国民友好協会の連帯と絆がいつそう強まることを願います。

代表理事 田中靖宏

(以上)

